

一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 3 丁目 39-12 ウェストビル 1 階 Email: apsjapan@apsjapan.org HP: https://apsjapan.org

記入日 2025 年 10 月 29 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2026 年度執行部立候補申請書

	y-mz + /5
立候補者氏名	河野 真優
立候補する役職	地域連携委員会長
大学/学部/学科	大阪医科薬科大学薬学部薬学科
学年	4年
所属	財務部、プロモーション部
日本薬学生連盟	2024年 12 月財務部所属
での活動経歴	2025 年 4 月地域連携委員会所属
	2025 年 6 月関西新歓企画長
	2025 年 8 月株式会社フォーブレイン 企画
立候補動機	前任者の推薦により立候補させていただきました。また地域連携委員会は他の学年、大学の薬学生と繋がることができる機会を設けることができる委員会だと思っています。しかしそれだけではなく地域連携委員会として名前の通り地域の人たちと関われるイベントを開催していきたいと考えています。そう思ったきっかけとして、学校ではコミュニケーションの授業がありますが定型文でしか習わないため、実際人と関わるとなれば全員が全員適応されるかと言えばそうではないと思い、現場に出る前に一人一人に合った関わり方を学びたいと思ったからです。また委員長となったからには地域施設などの場所を借りてたくさんの地域の人と関われるイベントを開催するような新しいことに挑戦して委員会を盛り上げたいと思います。
問題点と改善案	問題点①:企画数が少ない 地域連携委員会では毎年、主に日本薬学生連盟の三大イベントの企画運営を行っていますがそれ以外にも立候補動機でも挙げたイベントを開催し、薬学生連盟の新たな恒例イベントの基盤を構築したいです。今後、地域連携委員会として日本薬学生連盟内だけではなく外に向けて提供者、参加者共に価値のあるイベントを企画していきたいと考えています。問題点②:関西のメンバーが少ない私が関西所属であることもあり、企画を継続的に開催していくためには、まずメンバーの確保が重要な課題となります。現時点での所属人数は私を含めて4名と少人数であり、活動の幅を広げるには新たな仲間を迎える必要があります。そこで、プロモーション部と連携し、実施した企画の報告や活動内容をSNSで積極的に発信していきたいと考えています。SNSを通して活動の様子を広く知ってもらうことで、多くの薬学生の目に留まり、参加への関心を高められると期待しています。実際、私自身が日本薬学生連盟の存在を知り、参加を決意したきっかけもInstagramでの投稿でした。その経験からも、SNSによる情報発信は非常に効果的であると感じており、今後のメンバー募集や認知度向上において有用な手段になると考えています。問題点③:認知度が高くない(一般の人に対して)私はこれまで色々な薬局、病院の見学、学会の参加、ボランティアでの訪問を通して、日本薬学生連盟の紹介をしています。その際に団体を知っている方は感覚的に知ってる人は全体の2割ぐらいにとどまっていました。私はここで活動していることを誇らしく思っており、もっと多くの人にその存在を知ってもらいたいと感じております。そのため、地域の人たちと関わることができるイベントを開催しそこで団体紹介の機会を設けることで、認知度を0から1へと広げていきたいと考えています。
活動計画	2025 年 12 月 対外企画実施 2026 年 3 月 年会



一般社団法人日本薬学生連盟(APS-Japan)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 3 丁目 39-12 ウェストビル 1 階

Email: apsjapan@apsjapan.org HP: https://apsjapan.org

所信

私は性格上、面倒だと感じたことにはなかなか行動に移せない一面があります。ましてや委員長という立場は、自分にとって大きな挑戦だと思います。

しかし、そのような私があえて委員長に立候補したのは、「学生である今しかできないことを大切にしたい」と感じ、後悔したくないと思ったからです。自由に企画を考え、自らの手で形にできるこの機会は、まさに学生だからこそ得られる貴重な経験だと考えました。

前任の方から声をかけていただいた以上、基本的な業務を確実にこなすだけでなく、団体をさらに盛り上げるための新しい企画にも積極的に取り組み、自分 1 人だけではなくメンバーの意見を取り入れながら成長していけたらと考えています。その際には、学業との両立を意識し、メンバー全員が無理なく活動できるよう、役割分担や組織体制を整えていきます。

また、グループだけではなく個人個人にも連絡しその際、したいことや意見などを聞くことで発信しやすい雰囲気づくりを心がけ、互いに支え合いながらより良い活動を進めていけるよう努めます。

地域連携委員会、そして日本薬学生連盟全体の発展のために、薬学生の架け橋となれるようー 層精進してまいります。

※本申請書の記入については、下記の条件を遵守してください(提出時はこの 5 行を必ず削除すること)

・フォントサイズ:8

・フォント: MS Pゴシック

•A4 サイズ2枚以内

・必ず PDF にして提出すること